

あまみ 市議会だより

No.66

2022.9



▲ 令和4年5月10日 奄美群島市町村議会議員大会が3年ぶりに開催されました。

奄美・沖縄 世界自然遺産

©amami-ancc



奄美市公式キャラクター
32tch

第2回定例会

令和4年6月14日～7月1日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町2番8号
TEL: (0997) 52-1111
FAX: (0997) 52-2815
Eメール: gikai@city.amami.lg.jp

第2回定例会 一般質問	P 2 ～ 5
第2回定例会 常任委員会	P 6
第2回定例会の主な議案	P 7 ～ 8
第2回臨時会	P 9
令和3年度政務活動費報告	P 10
奄美群島市町村議会議員大会／あとがき	P 11 ～ 12

第2回定例会 一般質問

市政を問う

6月15日、16日、17日の3日間で11名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※下記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

6月15日

- 1 和田 霜析
- 2 竹山 耕平
- 3 崎田 信正
- 4 奥 輝人

6月16日

- 1 栄 ヤスエ
- 2 松山 さおり
- 3 川口 幸義
- 4 関 誠之

6月17日

- 1 橋口 耕太郎
- 2 幸多 拓磨
- 3 荒田 幸司

動画配信は
こちら⇒



ワクチン接種・教育について



和田 霜析
(自民党新国会)

問 新型コロナウイルスワクチン接種について

答 本市の年齢階級別3回目接種率について、6月6日時点の実績は左記のとおり。

新型コロナウイルスワクチン3回目接種率 (R4.6.6 時点)								
12～19歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳代	65～69歳代	70歳代	80歳代
23.4%	40.9%	44.6%	54.5%	69.8%	72.2%	79.3%	89.6%	83.1%

問 5歳から11歳のワクチン接種の状況について

答 令和4年5月末時点で5歳～11歳のワクチン

接種率は、1回目が11・3%、2回目が5・7%となっている。

問 ワクチン廃棄について

答 本市においては、現在モデルナワクチンのみ廃棄実績がある。5月28日に有効期限を迎えた1695回分、6月1日に有効期限を迎えた750回分の計2445回分の廃棄を行った。

問 学校教育について

答 学校施設に不備があった場合の対応の流れとして、①現場状況の確認(担当者等)、②緊急性や危険性の確認(担当者等・事業業者)、③修繕等に係る見積額の算出(事業者)、④緊急性が高く、予算内で執行可能なものについては、修繕等へ着手、⑤緊急性等はあるものの予算額が大きいものについては補正や次年度当初予算に要望するほか、長寿命化計画に基づく改修時に合わせて実施している。

【その他の質問事項】

・認定こども園について

リフォーム助成制度今後の展開について



竹山 耕平
(自民党新国会)

問 リフォーム助成制度の成果と今後の展開について(制度設計の見直し等)

答 平成23年度開始した制度。市民からのニーズも高く大変好評である。11年間の実績として交付決定数2721件、補助総額約2億6600万円、対象となる工事費の総額は約28億8500万円。平成26年から対象額を50万円以上から30万円に引き下げ、より多くの方が利用できるなど見直しも行った。これまでに実施した申請者及び施工業者へのアンケート調査などを含め検討したい。

問 市内の各学校等(小・中・幼・保)におけるフッ化物洗口への取り組みについて

答 笠利地区では平成30年度以降5校が取り組み、一人当たりのむし歯本数を示すMFT指数では3

校が改善、また虫歯の無い割合の平均の比較でも4校が改善している。今後、後もデータを積み重ね成果を検証したい。今後は歯科医師会等とも連携を図りながら、実施していない学校に説明を行いフッ化物洗口の取り組みを促していく。また、保護者説明会を行い希望のあった4、5歳児を対象に全ての認可保育所・公立幼稚園で実施している。

【その他の質問事項】

・学校の普通教室、更衣室等のカーテン設置について
・プールの目隠し設置について



核廃絶の奄美市民の意思を示す非核 平和都市宣言のモニタメント設置を



嶋田 信正
(日本共産党)

あり、国際平和、核廃絶は万人の願いである。関係自治体と協力して取り組んでいきたい。

問 恒久平和を希求する奄美市民の意思をハッキリと示すため、モニタメントの設置を

答 モニタメントはより長きに亘ってそのメッセージを発信し続けることができる。平和を希求する想いは世代を超えて受け継がれ、恒久的なメッセージとして伝えられるべきもの。「非核・平和都市宣言」に値するより良い情報発信のあり方について研究したい。

問 本市が加入する日本非核宣言自治体協議会の活動について

答 全国の宣言自治体の活動実績の収集・世界の核軍縮の動向や核兵器に関する情報を分かりやすく解説した書籍発行の「調査研究事業」をはじめ、「原爆展事業」や「平和啓発事業」等を行っている。我が国は、唯一の被爆国で



▲本庁舎の懸垂幕

問 公契約条例の制定に向けた進捗状況は

答 公契約条例は、労働者の労働環境整備、地域経済の健全な発展に寄与することを目的としている。現在まで70を超える自治体で制定、割合は5%未満である。本市は平成28年7月に庁内検討委員会を設置し、各種団体との勉強会等を実施しているが、条例制定まで至っていない。全国的な動向及び地域の雇用状況を注視しながら、「公共工事の週休2日制度」など、中小企業労働者の雇用条件の改善や安定的な経営に資する取り組みを引き続き実施していきたい。

市長のイメージする 北部地区の振興策とは



奥 輝人
(無所属)

問 市長のイメージする北部地区の振興策とは

答 主に3つの地域特性の発揮が求められる。1点目に農業の集積地、2点目に空の玄関口である奄美空港の地理的優位性、3点目に情報通信産業の活用である。地域の特性を生かした発展の方向性を見据え、地方創生戦略作りを進め、地域振興の整備を整えていく。

問 今後の農水産業資材等の高騰対策について

答 県において地方創生臨時交付金を活用して農家漁家の負担軽減を図るとの事。国・県の動向を注視していく。

問 パッションフルーツの苗木の助成の拡充について

答 奄美市農業研究センターでは、苗を育てて苗木の販売を実施している。



▲収穫前のパッションフルーツ

拡充については、維持管理費や人件費など多くの費用がかかっていることから、現状維持でいく。

問 台風時における、マンガ・パッションフルーツの航空輸送について航空会社との協議について

答 貨物便について航空会社との協議を始めており、台風時はもちろん平時についても農産物の航空輸送に関してお互いの課題を共有し、早期の実現を図って行くように努めている。

観光行政、市民生活 道路行政について



栄 ヤスエ
(公明党)

問 コーバーサルツーリズムの推進について

答 県が「奄美群島ユニバーサルツーリズム推進事業」を実施しており、情報共有を行い、連携して取り組んでいく。奄美地区地域自立支援協議会の協力も頂き安心・安全な観光地づくりに努める。

問 観光施設における心のバリアフリー認定制度について

答 他自治体を参考に、今後の開催を検討する。

問 がん患者ウィッグ購入費の一部助成を県が始めたが本市の対応について

答 ニーズを把握し、今後事業実施に向け検討する。

問 県の事業「生理の貧困」支援促進における本市の取り組みについて

答 県の事業を活用し、教育委員会と連携し市内の小中学校のモデル校へ生

理用品を配布予定。アンケート調査など実態把握と生理を含めた女性の健康について知識と理解を深める取り組みをする。

問 高齢者のフレイル健診について

答 75歳以上の方を対象に長寿健診を実施している。令和2年から、15項目の質問を検診時に行い、本人の運動能力や栄養状態などを把握。フレイルの早期発見に取り組む。

【その他の質問事項】

- ・ヒアリングフレイルについて
- ・ヒアリングサポーター養成について
- ・国道、県道、市道沿いの植栽や花壇の改善について



市民の健康について



松山 さおり
(輝風クラブ)

問 乳がんの対象年齢・受診間隔の見直しができるのか伺う

答 19市の実施状況としては、13市が毎年検診を受診できる体制をとっている。市民からも「毎年受診できるようにしてほしい」「乳がん検診だけ病院で受診するのは二度手間だ」との声もあがっており、乳がん検診を毎年受診できる体制について検討が必要だと感じている。

「自己触診」の大切さを伝えていくとともに、検診を毎年受診できる体制について検討し、乳がんの早期発見に努めていきたい。

問 子宮頸がんワクチン接種の推進・啓発について

答 令和4年4月より接種勧奨を実施することになっており、大島郡医師会と協議を行った。定期接種となる小学校6年生



から高校1年生までの女子と、積極的勧奨が控えられるれていた時期のキャッチアップ世代の約1900人が対象となっている。ワクチンは3回接種することになっており、定期接種、キャッチアップ世代全ての対象者への予約票の送付を予定。本市は全国に比べ、子宮がんで亡くなる割合が高いため、奄美市だよりや市のホームページへの掲載、ラジオ等において周知を行っている。

【その他の質問事項】
・世界自然遺産について
・脱炭素社会の実現について

市長の政治姿勢について



川口 幸義
(自民党新国会)

問 航空路の水際対策と実績について伺う

答 水際対策として実施しているサーモグラフィによる検温については県や奄美大島5市町村と連携を取りながら奄美空港が令和2年4月20日から名瀬港が令和2年4月29日から実施している。水際対策において追跡調査が必要となった方は令和2年11月に確認された方が最後となっている。発熱者が確認された場合には健康確認のための追跡調査を行う体制は整えている。水際対策を継続して行っていることで市民一人ひとりの感染対策への意識が向上していると思っている。また、来島前に各空港や港においての検温等が行われており、島民のみならず観光で来島される方も感染対策を意識して来島されている



ものと推察している。発熱者を確認することで事前に体調不良の方を確認できることは感染対策として重要であると認識しており、空港や港においてサーモグラフィでの確認を行っていることで感染対策の動機づけになるものと考えている。

【その他の質問事項】

- ・給食センター休業について
- ・奄美市地籍進捗率について
- ・と畜場建設について
- ・用安農業集落排水事業の進捗率について
- ・水士里（みどり）サークルについて

マリンタウンの売れ残った土地と奄美市并済の今後について



関 誠之
(立憲民主党)

問 奄美市開発公社から無償譲渡された土地（マリンタウン）の売買状況について

答 市へ無償譲渡された土地は19億9974万2千円、売買した収納額は7者の内6者で、14億9189万9483円、1者・5億784万2440円が契約に至っていない。市が開発公社の借入金を年度末、鹿銀に18億773万円弁済した。

問 現在売れ残っている区画・譲渡価格と今後の取組みについて

答 2次公募時点で4区画11億1067万5063円。市として土地処分検討委員会を立ち上げ、8月を目途に公募を開始し、今年度内には土地処分を完了したい。信金からの借入金6億円は、来年3月31日に市が代弁済する。



▲工事中のマリンタウン

問 奄美市総合計画策定の進捗状況について

答 年度内を目的に論点整理などの内部作業をまとめ、市民の皆様等にご参加頂くよう、具体的な議論を始めたい。

問 学校給食センターの課題・問題点について

答 調理員40名のうち正規職員3名・再任用職員4名で、今後も直営堅持を基本として運営する。職員採用は、体制を精査したうえで対応したい。給食滞納額が約626万円ある。

【その他の質問事項】

- ・市立小中学校の教職員不足の現状
- ・奄美市立中学校生徒自死事案のその後について

名瀬クリーンセンター

について



橋口 耕太郎
(公明党)

問 施設の更新計画のスケジュールと事業費について

答 現在の最終処分場が令和16年度末まで利用可能。新最終処分場と廃棄物処理施設の基本計画の策定は令和9年度から着手し、令和17年度から供用開始できるよう準備を進める予定。事業費は平成27年度に算出した概算費用である100億円を想定し準備を進めている。

問 現在13種類のゴミの分別だが更なる分別の予定はないか。

答 現在他町村からも搬入しているため、構成自治体と大島地区衛生組合とともに協議したい。今年度から古紙類の再資源化に取り組む自治会を支援する資源物循環活動助成事業を開始した。試験的な運用ではあるが、今後の課題を解消できるもの



として地域とともに取り組んでいきたい。
【その他の質問事項】
・コロナウィルス感染症の現状について
・本市の農業分野で力を入れていきたい施策について。また、付加価値の高い作物の研究状況について
・教員免許更新新制度の廃止や教員採用試験の受験年齢の引き上げについて
・部活動の地域移行について
・今後休校等の可能性がある地域への私学誘致について
・発達障害の疑いのある乳幼児への施策について

自主財源の確保

福祉行政について



幸多 拓磨
(チャレンジ奄美)

問 ネーミングライツの導入について

答 ネーミングライツは公共施設に愛称を付与する命名権を設定し、権利を取得した企業等からの収入により当該施設の運営資金を調達する手法として全国の自治体に広がっている。これまで本市においても検討を行ってきたが、慣れ親しんだ施設名称が変わる事への懸念や、価格設定・採用に向けた基準設定が容易でないことから導入に至らなかった。しかし、自主財源の確保及び官民連携による地域活性化の観点から、今年度新設された官民連携推進室において改めて導入の検討を行っている。

問 奄美市の障がい者を対象とする採用試験について

答 令和元年度からは身

体障がい者だけでなく、知的障がい者又は精神障がい者も受験できるよう受験資格を拡充している。平成24年度から令和3年度までの障がい者採用試験において6名を採用しており、いずれも身体障がい者が採用されている。知的障がい者の試験問題は、全国人事試験研究センターが作成した問題様式で実施している。他自治体を参考にしながら研究したい。

【その他の質問事項】

- ・障害者雇用促進法に対する達成度について
- ・ヘルプマーク、ヘルプカードの普及率について
- ・安心、安全な教育現場について
- ・スケートボードやBMX、eスポーツへの取り組みについて 他



▲ヘルプマーク

介護、福祉制度と

コロナ対応等について



荒田 幸司
(日本共産党)

問 米軍機の低空飛行の実態と見解

答 令和3年度の市の目撃情報は、前年の90件と比較して45件と減少。県が発表した情報として取扱っているが、通報がなされていないことも想定される。今後市民からの情報提供に取組む。

問 コロナ感染情報が少ないこの声も聞くが

答 県が公表している情報を発信している。市民への正しい情報の提供は重要だと考える。奄美市日より、ホームページ、ラジオなどを活用し、感染防止対策の情報発信に努める。

問 PCR検査の実情

答 県内では232箇所市内では9箇所の検査事業所を設置。検査件数は、6月11日時点で県内検査件数は、20万1509件、陽性者は5791人。

問 介護サービス提供全般
答 令和3年度実績でケアプラン作成件数1万7885件、ヘルパー派遣などの訪問介護サービス利用者、延べ6982人、デイサービス利用者延べ6142人。令和4年4月1日現在、ケアプラン作成31事業者、訪問介護サービス23事業者、通所介護サービス20事業者。

問 大人にかわって家族の世話や介護をしている「ヤングケアラー」について

答 正確な人数は、未掌握。県において、県内の小学校6年生から高校3年生までを対象に1万人を抽出し実態調査を行う予定。



第2回定例会 常任委員会 審査概要

6月22日 文教厚生委員会
6月23日 産業建設委員会
6月24日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

総務企画委員会

令和4年度 奄美市一般会計補正予算
(第3号)

問 今後の具体的なSDGsの推進について
答 官民連携した形で奄美市SDGs推進プラットフォームを設立した。官民で対話交流をしながら推進していきたい。

問 長浜地区での新たなトイレ整備について
答 B & G財団助成事業を活用した防災倉庫と一体的に整備し、防災作業時や一時避難時等に活用したい。

問 民間(ANA)からの出向者受け入れの経緯と負担金について。
答 ANA傘下のLCC就航以来の関係や、同社の奄美出身者との縁もあり、両者のパートナーシップによる奄美の魅力発信につなげたいと考えて打診した。出向者の賃金等の費用は全てANAが支出し、本市はその一部を負担金として同社に支払う協定となっている。

問 人事交流による職員の配置状況について。
答 国土交通省、環境省、デジタル庁、県の各部署等に現在計10人を研修派遣している。

「核共有」反対の決議を求める陳情
▼不採択とすべきもの

【議員からの主な意見】

・元首相の発言からきており、実質的にこの言葉が一人歩きしている。ここから現実的にそのようになっていくという事例はよくあること。奄美市議会として意思表示していくのは大変なこと。

・政府は今回の発言は認められないとの姿勢である。現在隣国での侵略行為が行われているこの時期に一国会議員の発言だけで地方議会奄美市議会として判断ができない。

産業建設委員会

公式LINE連携機能導入支援業務
▼880千円

問 奄美市公式LINEは、今までは市からの発信だけだったのが市民からも情報を得られるようになるのか。内容と目的は。
答 奄美市公式LINEにおいて、写真、位置情報などの情報を、市民や観光客が投稿できるようにするサーベイ機能を今回新たに実装する。公共施設の不具合など、現地の状況がよく分かるように投稿していただけたらとにも、新たな観光的魅力なども本機能を通じて情報収集できればと考えている。

問 奄美市公式LINEにおいて、写真、位置情報などの情報を、市民や観光客が投稿できるようにするサーベイ機能を今回新たに実装する。公共施設の不具合など、現地の状況がよく分かるように投稿していただけたらとにも、新たな観光的魅力なども本機能を通じて情報収集できればと考えている。

笠利地区観光看板更新業務
▼5560千円

問 本業務の詳細は。

答 笠利地区41カ所に設置している、横2.5メートル、高さ1.5メートルの観光看板について、古い情報の更新と劣化部分の補修とあわせて、新たにQRコードを掲載して英語版ホームページにもアクセスできるよう改修するもの。

奄美市道路線の廃止及び認定について
(佐仁10号線)

問 佐仁集落から意見は出ていないか。路線の廃止及び認定によるメリットは。

答 道路の起点側に架かっている橋梁の点検をしたところ、補修が困難であることが判明したことから、現路線の改良により道路の線形を変えてアクセスを向上させるもの。佐仁集落には説明を行い、理解を得られている。

文教厚生委員会

令和4年度 奄美市一般会計補正予算
(第3号)

問 学校給食運営費(支払督促手数料11万9000円)について

答 給食費の納付の意思が確認できない場合は、裁判所を通じた法的措置を講じるための予算措置。

問 学校教育振興費(ネットワーク回線増設業務55万9000円)について

答 学校現場では、およそ500台のパソコンをインターネットに接続し業務を行っているが、コロナ禍による通信量の増大を受け、2テラバイト分の通信速度を確保するための業務。

令和4年度 奄美市介護保険事業特別会計補正予算
(第1号)

問 地域包括支援センターの専門職配置基準について

答 高齢者人口によるが、名瀬地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員を各2名ずつ配置することとされている。



第 2 回定例会の議案

番号	件名	議決結果	付託委員会
	令和3年度奄美市一般会計予算繰越計算書		
	令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算繰越計算書		
	令和3年度奄美市水道事業会計予算繰越計算書		
	令和3年度奄美市下水道事業会計予算繰越計算書		
	令和3年度奄美市債権管理条例第17条第1項に伴う債権放棄報告書		
	陳情の処理状況について (令和3年陳情第3号 奄美市住用町市湾の沿岸に堆積している土砂の撤去に関する陳情)		
	専決処分の報告について (専決第9号 和解について)		
	専決処分の報告について (専決第10号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
	専決処分の報告について (専決第11号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
報 告 第 4 号	専決処分の報告について (専決第12号 令和4年度奄美市一般会計補正予算(第2号)について)	承認	本会議
議 案 第 49 号	令和4年度奄美市一般会計補正予算(第3号)について	原案 可決	全委員会
議 案 第 50 号	令和4年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案 可決	文教厚生
議 案 第 51 号	令和4年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案 可決	文教厚生
議 案 第 52 号	奄美市集会施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務企画
議 案 第 53 号	奄美市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教厚生
議 案 第 54 号	奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	産業建設
議 案 第 55 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案 可決	総務企画
議 案 第 56 号	奄美市道路線の廃止及び認定について	原案 可決	産業建設
議 案 第 57 号	奄美市監査委員の選任について	同意	本会議

▽ 7ページの続き ▽

番号	件名	議決結果	付託委員会
発議 第4号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書の提出について	原案 可決	本会議
発議 第5号	義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書の提出について	原案 可決	本会議
発議 第6号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	原案 可決	本会議

請願・陳情の状況

受理 番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請願 第1号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について	鹿児島県教職員組合奄美地区支部奄美地区協議会 議長 力武 誠	採択	文教厚生
請願 第2号	義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について	鹿児島県教職員組合奄美地区支部奄美地区協議会 議長 力武 誠	採択	文教厚生
陳情 第2号	「核共有」反対の決議を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画
陳情 第3号	政府に対して「インボイス制度実施延期を求める意見書」の提出を求める陳情	奄美民主商工会 会長 濱田 幸造	継続審査	産業建設

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																					【○賛成数】	【●反対数】	
	幸多拓磨	弓削洋平	永田清裕	和田霜析	松山さおり	林山克巳	正野卓矢	橋口耕太郎	栄ヤスエ	大迫勝史	奥晃郎	竹山耕平	元野景一	関誠之	崎田信正	荒田幸司	与勝広	西公郎	奥輝人	伊東隆吉	川口幸義			多田義一
請願第1号 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023 年度政府予算に係る意見書採択の請願について	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	欠	○	○	○	●	-	○	○	○	○	12	8
陳情第2号「核共有」反対の決議を求める陳情	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	○	○	●	-	●	●	●	●	5	15

表決の結果を掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※西公郎議員は議長職の為、表決権はありません。

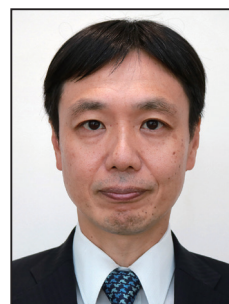
第2回臨時会の議案

令和4年7月25日に第2回臨時会を行いました。

番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第58号	副市長の選任について	同意	本会議

奄美市議会は令和4年7月25日、第2回臨時会を行い、副市長に県総合政策部参事(当時)の諏訪哲郎(すわ てつろう)氏を選任する人事案に賛成多数で同意しました。

諏訪氏はあいさつで「安田市長の下、奄美市の発展のため誠心誠意努めていく」と抱負を述べました。諏訪氏は8月1日付で副市長に就任しました。



諏訪 哲郎氏

永年在職議員表彰



本年5月の第98回全国市議会議長会定期総会にて、伊東隆吉議員が20年永年在職議員表彰、元野景一議員・川口幸義議員・西公郎議員が10年永年在職議員表彰を受け、第2回定例会の最終本会議終了後に表彰状の伝達式を行いました。なお、栄ヤスエ議員も在職10年の対象者でしたが、党の方針で辞退されております。

ウクライナへの義援金



奄美市議会では、ウクライナへの義援金を募り合計11万円が集まりました。5月30日に奄美市議会を代表して西議長・橋口副議長が安田市長へ義援金を渡しました。

令和3年度

政務活動費報告 (令和3年4月～令和4年3月)

議員1人当たり 月額22,500円×12ヶ月 計270,000円（幸多議員、和田議員は4ヶ月）を交付し、全体交付申請額558万円のうち323万円（57%）を活用しました。

項目	〈支出額の使途〉									支出額 合計	市への 返還金
	調査 研究費	研修費	広報費	公聴費	要請 陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	事務 所費		
幸多 拓磨			34,000				13,529	24,869		72,398	17,602
弓削 洋平		8,000	123,200				13,158	22,644		167,002	102,998
永田 清裕							240,342	11,160	26,800	278,302	0
和田 霜析								3,435		3,435	86,565
松山 さおり		9,500	20,000			37,855		22,563		89,918	180,082
林山 克巳	49,345		25,850				1,500	48,000		124,695	145,305
正野 卓矢		8,000	168,760					70,480		247,240	22,760
橋口 耕太郎							26,378			26,378	243,622
栄 ヤスエ							40,950	37,986		78,936	191,064
大迫 勝史							74,340			74,340	195,660
奥 晃郎							207,287			207,287	62,713
竹山 耕平	103,811				89,370			55,734		248,915	21,085
元野 景一								11,160		11,160	258,840
関 誠之		66,900	157,500	3,000			55,554	40,779		323,733	0
日本共産党 荒田幸司 崎田信正					13,360			64,379	324,550	402,289	137,711
与 勝広							62,296			62,296	207,704
西 公郎	80,100						70,669	11,160		161,929	108,071
奥 輝人	107,596					1,500	12,310	8,400		129,806	140,194
伊東 隆吉	76,862						13,694	53,919		144,475	125,525
川口 幸義							251,207	27,550		278,757	0
多田 義一	52,300				120,140					172,440	97,560
総計	470,014	92,400	529,310	3,000	222,870	39,355	1,083,214	514,218	351,350	3,305,731	2,345,061
構成比	14.2%	2.8%	16.0%	0.1%	6.7%	1.2%	32.8%	15.6%	10.6%	100.0%	

・政務活動費は、年度初めに1年分を会派又は議員に交付し、年度終わりに年間の収支報告書などを議長に提出します。支出額が上限に達しない場合、残額は市へ返納されます。

・領収書や収支報告書などの詳細は閲覧可能です。資料の閲覧を希望される方は議会事務局までお越しください。

第 63 回奄美群島市町村議会議員大会開催



	議 案
1	離島地域における物価高、燃油価格差の是正について (奄美市 提出)
2	国道 58 号（奄美市住用町役勝～網野子トンネル起点間、勝浦～阿木名間のトンネル化）の改良促進について (大和村・宇検村・瀬戸内町 提出)
3	島外治療の交通費助成について (龍郷町・喜界町 提出)
4	徳之島地区の病床数の増床について (徳之島町・天城町・伊仙町 提出)
5	さとうきびハーベスタ利用助成金の創設について (和泊町・知名町・与論町 提出)

第63回奄美群島市町村議会議員大会が5月10日、奄美市市民交流センターで開催され、12市町村の議会議員や市町村長が出席しました。

令和5年度末に期限を迎える現行奄美群島振興開発特別措置法の延長に向け、市町村議会として地域住民・行政と一体となつて推進することが宣言されました。

また、各地区から提出された5議案の採択と、奄美群島振興交付金の充実・拡充など18項目の決議を可決しました。

奄美大島世界遺産センターオープン

世界自然遺産登録から1年を迎える7月26日、環境保全や観光の拠点として環境省が設立した「奄美大島世界遺産センター」（奄美市住用町石原）がオープンしました。記念式典に奄美市議会を代表して西議長が出席しました。施設では希少な動植物の様子がスクリーンやレプリカで紹介されています。

- ・ 開館時間 午前9時～午後5時
- ・ 入館料 無料
- ・ 休館日 平日木曜日、年末年始



議会の動き

【5月】

- 2日 議会だより編集委員会
- 10日 奄美群島市町村議会議員大会
- 11日 議会運営委員会
奄美市体育協会総会
- 17日 文教厚生委員会視察（～20日）
- 24日 県市議会議長臨時総会
奄美大島・喜界航路対策協議会
奄振に関する意見交換会
- 25日 全国市議会議長会定期総会
- 26日 世界自然遺産登録推進協議会
- 27日 全員協議会
- 30日 かごしま国体奄美市実行委員会
総会
- 31日 かごしま国体・かごしま大会実行
委員会

【6月】

- 6日 議会運営委員会
- 14日 第2回定例会開会・全員協議会
会派代表者会
- 15日 一般質問
- 16日 一般質問
- 17日 一般質問・議会運営委員会
- 21日 本会議・全員協議会
- 22日 文教厚生委員会
- 23日 産業建設委員会
- 24日 総務企画委員会

【7月】

- 1日 最終本会議・会派代表者会
- 7日 全国ハンセン病療養所市町村
連絡協議会総会（WEB参加）
- 14日 総務企画委員会視察（～16日）
- 19日 県市議会議長会定期総会
産業建設委員会視察（～22日）
- 22日 議会運営委員会
全国離島振興市町村議会議長会
総会（WEB参加）
- 25日 第2回臨時会
- 26日 奄美大島世界遺産センターオープ
ン記念式典
奄美群島さとうきび価格対策協
議会総会
- 28日 公立高等学校生徒募集定員策定等
に係る地区説明会
第1回奄振延長・提言特別委員会

市議会だより 編集委員会

【委員長】	荒田 幸司			
	【副委員長】			
【委員】	和田 霜析			
	幸多 拓磨			
【委員】	林山 克巳			
	関 誠之			
【委員】	与 勝広			
	多田 義一			

第3回定例会の予定

令和4年9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	開会	一般質問				
11	12	13	14	15	16	17
	本会議	常任委員会				
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
	本会議					

令和4年10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
		決算委員会				
9	10	11	12	13	14	15

「議会をご覧になりませんか」

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。

議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

「傍聴」

事前連絡は不要です
奄美市役所名瀬庁舎8階

「議会中継」

議会の様子を
インターネットで

編集あとがき

令和4年第2回定例会が、6月14日～7月1日まで18日間開催されました。一般質問登壇者は11名。市民の方々から預かりました。一般質問は、一部が力強く質問を致しました。議会だよりにて一部が掲載されています。ぜひご覧ください。（ユーチューブでは録画配信しています）今回の議会では、専決処分1件が可決、補正予算関係議案3件、他議案5件も全会一致にて可決されました。請願2件は採択。陳情2件中1件は不採択、陳情1件は継続審査となりました。文教厚生委員会では給食費滞納額について話がありました。産業建設委員会は導入口に於いては笠利地区観光板更新時にQRコードを導入することが決まりました。総務企画委員会はSDGs推進経費等に多くの質疑がございました。

一般質問初日に奄美小学校5年生の生徒さん30人が社会科見学の一環で、傍聴にいらして興味関心を持って小学生の頃から議会に政治に関与する。市民の皆様、議会開会中は傍聴したいと思う方はどなたでも自由に傍聴が出来ます。議会を身近に感じ、共に市政について考えてみませんか。

【幸多 拓磨】